



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3376 号 2016.12.1 発行

善人か表面的行動で判断、京大 自閉スペクトラム症 共同通信 2016年11月29日

対人コミュニケーションが苦手とされる「自閉スペクトラム症」の子どもは、他人の表面的な行動を捉えて、善い人か悪い人かを判断する傾向が強いとの研究結果を京都大や福井大などのチームが29日付の英科学誌電子版に発表した。

自閉スペクトラム症は他人の悪意を理解するのが難しいとの研究報告があり、チームの米田英嗣・京大特定准教授（認知心理学）は「詐欺被害を防ぐ方法の開発や教育現場に役立つ成果」と話している。

自閉スペクトラム症は自閉症やアスペルガー症候群などの総称。

誰もが楽しめる全国障害者芸術祭 名古屋で9日開幕 中日新聞 2016年12月1日
手話の講習を受ける県職員＝県庁で



障害者の芸術祭「第十六回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」が十二月九～十一日、名古屋・栄地区の六会場で開かれる。県は、差別的な扱いを防ぐ「障害者差別解消推進条例」や、手話や点字などの利用促進を図る「手話言語条例」を施行したばかり。運営や展示方法にも工夫を凝らす。

夫を凝らす。

六会場に、絵画や彫刻、陶芸など県内外の障害者が制作した八百点を展示する。障害者らによる舞台「親指王子」もあり、三日間で三万人の来場を見込む。

県は、ボランティアら二百人を対象に手話の講習をした。会場の受け付けなどを担当する県職員も受講。三十日の講習では、県聴覚障害者協会理事が約三十人に、手話によるあいさつや案内を指導した。

作品数が多い三会場に配置されるガイドボランティアは、筆談も学んだ。また、目の不自由な人らにも、展示作品の解説ができる。

東京芸術大の協力で展示方法も工夫した。ゴッホの自画像やマネの「笛を吹く少年」などの名画を、3Dプリンターを使って同じ素材で再現し、実際に手で触れられる。会場に用意するゴーグル型の仮想現実（VR）器具＝県庁で



県障害福祉課の担当者は「においや絵の凹凸も本物と同じ。視覚障害の有無に関係なく新鮮な体験になるのでは」と話す。

一部の会場では足の不自由な人も鑑賞できるよう、仮想現実（VR）の技術も取り入れ

た。階段でしか行けない展示場所や、県外にある招待作家の作品を三次元映像で撮影。ゴーグル型の器具で鑑賞できる。

手話言語条例の制定を求めてきた愛知障害フォーラム（ADF）の辻直哉事務局長は「障害者への配慮から、誰でも楽しめる新しい発想が生まれる可能性を感じる」と話す。

会場は愛知芸術文化センター、名古屋市民ギャラリー栄、ナディアパーク、名古屋三越栄店、三井住友銀行SMB Cパーク栄、損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホール。多くは午前十時～午後六時。名古屋駅と会場を結ぶ無料シャトルバスを運行。スタンプラリーもある。（問）実行委員会事務局＝052（954）6697

（竹田佳彦）

視覚障害者 乗車時、駅員が原則介助 国交省方針

毎日新聞 2016年12月1日



視覚障害者の男性の転落事故後、東京メトロ日比谷線 上野駅のホームに掲示された啓発ポスター＝2016年11月30日午後4時29分、長谷川直亮撮影

視覚障害者が8、10月に駅ホームから転落死する事故が相次いだことを受け、国土交通省は全国の鉄道会社に対し、原則として視覚障害者の乗車を駅員が介助するように求める方針を固めた。従来は各社の裁量に任されていたが、駅員が介助を申し出るよう徹底を図ることで、ソフト面での安全対策を進める。

これまで、駅を利用する視覚障害者を見かけた場合、駅員が必要に応じて声をかけ、介助を提案するという鉄道会社が多かったが、どんな場合に声をかけるのかを定めた統一の指針はなく、実際に介助するかも現場の判断に委ねられていた。声をかけてもらった経験がなく、駅員が介助してくれることを知らない視覚障害者もいるとみられる。

このため、国交省は、駅員が改札やホームで視覚障害者を見かけた場合、原則として声をかけて介助を提案するよう求める。視覚障害者が希望すれば、駅員が寄り添ってホームの乗り場まで案内し、乗車行為もサポートする。視覚障害者を驚かせたりすることがないように、どのような声かけをするかを含めて共通の指針を作成し、各社の規則に明記してもらう考えだ。

駅の利用に慣れていて介助を必要としない視覚障害者については、本人の意思を尊重し見守る程度にとどめる。人手が足りない場合は、駅員の業務に区切りがついて対応できるようにするまで視覚障害者に待機してもらうことも検討する。【内橋寿明】

静岡で「タンDEM自転車」解禁 五輪にらみ公道走行可能に

産経新聞 2016年12月1日

県内では1日から、2人乗りの二輪タンDEM自転車の公道走行が可能になる。2020年東京五輪・パラリンピックの自転車競技が伊豆市内で開催されることを踏まえ、県警が競技団体などの要望を受けて県道路交通法施行細則を改正。県警によると、全国では既に13府県で公道走行が可能になっており、10月末現在で二輪タンDEM自転車による交通事故は発生していないという。

2つのサドルとペダルが前後に並ぶ二輪タンDEM自転車は、発進の際や横風を受けたときに不安定になりやすい▽ホイールベースが長く小回りがきかない▽2人分の駆動力でスピードが出やすいといった特性がある。後方の運転者はハンドルを操作する必要がないため、視覚障害者も安全にサイクリングを楽しむことができ、パラリンピックの正式種目にも採用されている。

ただ、二輪タンDEM自転車が走行できるのは道路左側の車道や路側帯、自転車専用通行

帯のみで、歩道走行は厳禁だ。県警交通企画課の西川清一・交通管理調査官は「普通の自転車とは走れる場所も違う。公道に出る前には練習を重ね、ヘルメットを着用した上で安全に運転を楽しんでほしい」と話している。

障害者殺傷事件 神奈川県が施設に改善勧告へ NHK ニュース 2016年11月30日

相模原市の知的障害者施設で起きた殺傷事件で、施設側と神奈川県との間で情報の共有が不適切だったと検証委員会が指摘したことを受けて、県は、施設側に対して情報の共有や報告の進め方について、今週中にも改善を求める勧告を行うことになりました。

この事件で、相模原市の知的障害者施設、津久井やまゆり園は、容疑者の元職員が、犯行を予告する手紙を通じて入所者を襲撃する危険性を認識していたのに、県と情報を共有しなかったのは「不適切だった」と、検証委員会の報告書で指摘されました。

これを受けて神奈川県は、施設を運営している「かながわ共同会」に対し、入所者や職員の安全を脅かす情報を速やかに県に報告するよう改善を求める勧告を行うことになりました。

勧告は今週中にも行われ、施設側には改善計画の提出を求めることにしています。神奈川県黒岩知事は、30日の県議会で「今回の事件では、施設側の危機管理に改善すべき点があった。勧告を受けてしっかり対応してほしい」と述べました。

1.1 億円横領容疑で元課長を逮捕 東京福祉大の運営法人

日本経済新聞 2016年11月30日

東京福祉大を運営する学校法人「茶屋四郎次郎記念学園」（東京・豊島）の運営費など約1億1200万円を着服したとして、警視庁捜査2課は30日までに、同学園の元総務課長、別所信男容疑者（64）＝埼玉県朝霞市膝折町2＝を業務上横領容疑で逮捕した。

逮捕容疑は財務担当課長だった2011年から12年にかけて、土地購入手続きの返金分約1200万円を着服したり、同学園の定期預金約1億円を無断で解約して引き出したりした疑い。

捜査2課によると、着服した現金は競馬やパチンコなどに使ったという。同学園が13年4月に定期預金口座の残高を確認して横領が発覚。同年5月に懲戒解雇し、15年7月に刑事告訴していた。

「医療・福祉」の初任給、高卒男子で最低額 12産業を調査

福祉新聞 2016年11月29日 編集部

厚生労働省が17日に発表した「2016年賃金構造基本統計調査（初任給）」の結果で、「医療・福祉」業で働く高卒男子の初任給が主要12産業中最も低いことが分かった。

調査は、5人以上の常用労働者を雇用する7万8095事業所を対象に実施。このうち新規学卒者を採用した1万5308事業所の6月分の賃金状況をまとめた。

「医療・福祉」の初任給は、大卒19万6700円（前年比2300円減）、高専・短大卒17万9200円（100円減）、高卒15万1500円（800円増）。

男子は大卒19万6700円（4400円減）、高専・短大卒18万4100円（2000円増）、高卒14万8200円（1800円増）、女子は大卒19万6800円（1500円減）、高専・短大卒17万8200円（600円減）、高卒15万2900円（600円増）だった。

全産業平均と比較すると、大卒で6700円、高卒で9800円低く、高専・短大卒で2300円高い。男子は大卒が9200円、高卒が1万5300円、女子は大卒が3200円、高卒が4300円それぞれ低かった。

初任給が最も高い産業は、高卒男子と大卒および高専・短大卒女子が「情報通信業」、大卒男子が「建設業」、高専・短大卒男子が「金融業・保健業」、高卒女子が「生活関連サービス・娯楽業」だった。

介護男子がトークショー 発信して現場の評価あげよう



福祉新聞 2016年11月30日 編集部

トークショーでは楽器を演奏する職員も

介護の日（11月11日）にあたり、若者と介護の仕事について考えるトークイベントが10日に都内で開かれ、180人が参加した。全国の社会福祉法人20団体で構成する「介護男子スタディーズ」と、若手の福祉人材を支援する一般社団法人「FACE to FUKUSHI」の主催。

「介護男子」は2015年、20法人が75万円ずつ出して出版した書籍。介護職で働く男性職員の日常を切り取った写真と、研究者などの論考が掲載されており、1万2000部が完売したという。

開会にあたり、制作に携わった飯田大輔・福祉楽団常務理事は介護男子の書籍について「介護はクリエイティブでアートな部分が多いことをアピールしたかった」と指摘。「人工知能やロボットなど介護分野でのイノベーションも、現場があるからこそ生まれる。もっと能動的に動いて発信することで、介護現場の評価を上げたい」と語った。

トークセッションでは、25歳以下の男性職員や研究者などが登壇した。

介護の仕事に就いた理由について、野の花会（鹿児島）の村添拓美さん（22）は「調理や事務の仕事と迷ったが、将来役に立つと思った」と説明。福祉楽団（埼玉）の千本稔希さん（24）は、就職情報サイトに載っていた法人の理念が決め手だったという。

両親も介護の仕事という明照会（兵庫）の白石貴大さん（24）は「理事長が柔軟に若者の意見を取り入れてくれそうだった」と話した。

一方、介護の魅力について若竹大寿会（神奈川）の門脇駿さん（24）は「本人の希望を尊重するために何ができるかを考え、幸せを追求するのが仕事」と主張。今後は介護福祉士を目指しているという同和園（京都）の若吉駿佑さん（24）は「好きな音楽を通して、利用者を笑顔にできれば」と話した。

ブランド名は「ハレの福産良品」 県が障害者生産の農産物などPR



山陽新聞 2016年11月30日

障害者が生産した農産物などをPRしようと県が作成した「ハレの福産良品」のブランドマーク

岡山県は、障害者が生産した農産物や食料品などをPRするため、統一ブランド名「ハレの福産良品」と、ブランドマークを新たに作成した。商品売り出しの第1弾として、県内の福祉施設が手掛けた9商品・テーマについてパッケージやロゴ、パンフレットのデザイン案などを公募。12日まで申し込みを受け付けている。

商品は、ゴーダチーズ▽餅▽こんにゃく▽日本酒▽シイタケとキクラゲ（ともに生と乾燥の2種類）▽安納芋▽干しシイタケのスライス—の七つ。またテーマは「室内水耕栽培・屋上菜園とアート作品のコラボレーション」と「季節の花苗を贈るための箱」の二つで、施設が計画する活動の総合的なプロデュースを担当してもらう。

国内のプロデザイナー（個人）を対象にした一般部門と、国内の学生（個人またはグループ）による学生部門があり、一般は全商品・テーマに応募できるが、学生は2テーマだけ参加できる。また3商品・テーマを上限に複数の応募が可能。

国内のプロデザイナー（個人）を対象にした一般部門と、国内の学生（個人またはグループ）による学生部門があり、一般は全商品・テーマに応募できるが、学生は2テーマだけ参加できる。また3商品・テーマを上限に複数の応募が可能。

これまで制作した作品などが分かる提出書類を、グラフィックデザイナーや福祉関係者が審査し、1商品・テーマ当たり3候補程度を年内に1次選考。年明けにデザインなどの具体的な提案をしてもらうコンペティションを行い、最終決定する。実用化などは年度内を予定している。

県は本年度から、障害の有無を超えて芸術や農業などで交流する「スマイルーシブ」プロジェクトを進めており、今回のブランド戦略もその一環。デザインなどの公募の詳細は同プロジェクトのホームページから確認できる。

県障害福祉課は「ブランド化によって障害者が丹精した商品などの魅力を伝え、利用を増やし、就労拡大などにつなげたい」としている。問い合わせは同課（086—226—7343）。

<生きる支える 心あわせて>俳優と介護職と（上） 望んでいた「両立」の道

中日新聞 2016年11月30日

「今日も元気でいきましょう!」。デイサービスのレクリエーションを巧みな話術とアクションでリードする北原佐和子さん＝千葉県船橋市の学研ココファン西船橋で

サイドヘアを外巻きカールにした女の子が、正方形の写真の中で愛らしく小首をかしげている。

「一九八二年に私、歌手デビューしました。これがレコードジャケットの写真。ですが、本当は歌は得意じゃなかったんです」

千葉県船橋市のデイサービス施設。集まった二十人余の高齢者を前に、オレンジのポロシャツを着た北原佐和子さん（52）が、投影機を使って自己紹介を始めた。

元アイドルで現役俳優、そして介護福祉士。この日は、レクリエーションを担当した。前半は、時代劇で共演した大物俳優との裏話を織り交ぜながら、互いの思い出を語り合うことで脳を刺激する「回想法」を実践。後半は手ぬぐいを使った体操を指導した。細い体でクルクルと動き回る。アイドル時代と変わらない大きな瞳もクルクル。「話や体操の進行が上手。楽しかったあ」。利用者の金子アイさん（85）はほほ笑んだ。

埼玉県でサラリーマン家庭に育つ。三人きょうだいの一番上。気持ちも体も弱い子だったが、両親は厳しく「抱き締められた記憶もありません」。家庭に居場所が見つけれない中、高一の時、友人と応募したティーン雑誌の読者モデルに選ばれ、芸能事務所入り。同僚の女の子三人でアイドルグループを結成してから人気に火が付き、十八歳でソロレコードデビューすると、CMの契約申し込みが三十本近く殺到した。

「大人たちが全部お膳立てをして、運転手付きの車で仕事に行く。有頂天でした。ただ、歌や芝居をきちんと習ったわけではなく、自分に中身がないのを知っていたから怖くもありました」

不安は間もなく現実になる。人気に陰りが見え始めると「周囲の人たちがスーッと離れ」、三年後にレコード会社との契約も切れた。テレビドラマなどの俳優業は続けたが、一つの仕事が終わると次が確実にあるか分からない。休業期間が二～三カ月に及ぶことも。

日本舞踊や華道、陶芸など趣味を広げたが、満たされない。「ほかにすべきことは」。自問を続けた。

二十代後半になったある雨の日。東京都内にマイカーで出掛け、運転席で待ち合わせの友人を待っていると、サイドウインドーの向こうを、手足をこわばらせて歩く若い男性の姿が目に入った。「脳性まひの人かな」。傘を差しているが、手が不自由なため、体はずぶぬれだ。

「あのっ」。何かに突き動かされ、ドアを開けると声を掛けた。「良かったら乗ってください」。待ち合わせの友人をほったらかしにして、十五分ほどの距離を自宅まで送り届けた。



子どものころから、駅の切符売り場の辺りで困っている高齢者や障害者を見かけると、どうにも気になって仕方なかった。このときは、勇気を持って行動できたことに自分でも驚いた。

「俳優と福祉の仕事との両立ができたら」ー。華やかな芸能界にしながら、常に感じていた心の隙間を、その道を思い付いて少し埋められそうな気がした。

ただ、どうしたら福祉の仕事に就けるのか。当時は年齢相応の役をこなしながら、徐々に俳優としての地歩を固めていた。また、結婚・離婚といった私事も重なって、いつしか頭の中の「福祉」の存在は中ぶらりに。そんな状態が十年ほど続いたころ、たまたま、自宅近くの障害者施設の交流祭に出向いたのを機に意を決した。

「ここで働かせてもらえませんか」 （白鳥龍也）

<生きる支える 心あわせて>俳優と介護職と（下） ありのままの自分で

東京新聞 2016年12月1日

「いのちと心の朗読会」の後、お年寄りから「心に染みました」と励まされる北原佐和子さん＝埼玉県川越市の特別養護老人ホーム「蔵の町・川越」で

「水戸黄門」「暴れん坊将軍」「はぐれ刑事純情派」「牡丹（ぼたん）と薔薇（ばら）」ー。名だたるテレビドラマへの出演歴を持つ元アイドルで俳優の北原佐和子さん（52）。

不規則な俳優業の合間の時間を、福祉のために使おうと決めたのは四十歳を前にしたころだった。最初に障害者施設に飛び込みで就労を願い出たが、「（俳優との掛け持ちでは）シフトが組めない」とあえなく“撃沈”。「本気度を見せよう」と四十三歳でホームヘルパー二級の資格を取ってからは、介護情報誌を手に三十軒近い施設に電話をかけまくり、ようやく東京都内のデイサービス施設へのパート勤務が決まった。

華やかな衣装を着てまばゆいライトを浴びる世界から、利用者の失禁の対応に追われる立場へ。「あ～見なかったことにしたい」と落ち込んだ。それでもあるとき、便秘に苦しんでいた女性がトイレでやっと排せつでき「ありがたや～」と唱えていたのを聞いて気付いた。「お年寄りにお通じがあるのはとても大切なこと」。以来、利用者がトイレ外で漏らしてしまっても必ず「すっきりして良かったですね」と声を掛ける。

「私の物を取ったろう」「おまえの世話にはならん」。きつい言葉を投げつけられたり、介助を拒絶されたりすることをどう受け入れ、どう声掛けするか。そんな時は、自分ならどうしてほしいかを考える。

「今までできていたことができなくなったら立ちが、気難しく見せることもあるはず。その人の人生を理解すれば腹も立ちません。むしろ人間らしさがチャーミングと思える」。監督の要求通りに役作りをしなくてはならない俳優業で、柔軟性が磨かれたことも役立った。

介護職経験は既に約十年。この間、グループホームなど三施設で働く。多いときは週六日。京都での撮影後に上京し、夜勤をこなすこともある。二年前には介護福祉士、そして先月にはケアマネジャーの資格も取った。

こうして悟った「人の心に寄り添う大切さ」は、三年前から「いのちと心の朗読会」と題する場を通し、広く子どもや高齢者に伝えるようにもなった。自身を含むボランティアスタッフが学校や施設を巡り、スクリーンに映し出された風景写真や音楽に合わせ、子どもたちが書いた詩や作文を朗読する。いずれにも、自分自身や家族を大切にしたいとの願いがこもる。「命はみんなかけがえのないもの。いじめや自殺がなくなることを願います」。最後には、涙をこらえながら訴えている。



誰からも「たいへんね」と言われる俳優業と介護職の「二足のわらじ」。だが、俳優には「演じる楽しさ」、介護には「自分らしく存在できる充実感」がある。「俳優・北原佐和子」は、撮影所などに向かうため自宅を一步出した瞬間から、無意識のうちに、どこから人に見られてもいい自分になる。「介護職・北原佐和子」は、人間と人間の関わりの中で、ありのままの自分をさらけ出す。

そして何より「利用者の笑顔に触れるだけで元気になれる」と、きっぱり。だから自分も笑顔を絶やさない。「排せつの対応に追われてしまうときも、鏡の中の自分に向かってこう言えば笑顔になれるんですよ。よしっ、これでウンがついた！って」。目を輝かせながら、大きなガッツポーズをつかった。（白鳥龍也）

煩雑な障害年金の請求手続き 社労士らが支援活動 東京新聞 2016年12月1日

病気やけがなどで障害を負ったときの生活を支えるのが、公的年金制度の障害年金だ。ただ、請求手続きはかなり煩雑。書類の書き方が不適切だと、本来は受給できるのに受給できなくなってしまう。そこで、社会保険労務士の間で、障害年金の請求を支援する動きが出始めている。（白井康彦）

「障害年金をもらう手続きは、障害者側の負担が重い」。滋賀県甲賀市の「障がい者雇用・生活支援センター甲賀」の田中郁共センター長は、こう話す。

田中さんは長年、障害がある人たちを支援してきた。そのうちの一人で知的障害がある若い男性は現在、障害基礎年金を受給し、仕事もして安定した生活を送っている。しかし、年金を受給できるようになるまでの負担は軽くなかった。

男性は、二〇〇六年に障害基礎年金を請求したが、国の裁定は棄却だった。田中さんによると当時、男性は手取り額が全て家賃や食費などの生活費に回る、ぎりぎりの暮らしだった。

同年、男性は同県内の知的障害のある五人と一緒に国を相手に不支給処分を取り消しを求め、大津地裁に提訴。裁判では国側の反論により、男性たちの障害の程度が支給基準に合うかどうかなどが争点になった。同地裁は一〇年、原告勝訴の判決を言い渡し、国が控訴を断念。男性たちに月六万数千円の障害基礎年金を支給する判決が確定した。

障害年金の受給には三つの要件がある。第一は、その障害に関する初診日を特定し、その前日の時点で国民年金や厚生年金に加入していること。第二は、同時点で一定以上の保険料を納めていること。第三は障害の重さが基準を満たしていること。請求する側が、これらを満たすことを証明する必要がある。

しかし、これに苦労する人は少なくない。大津市の社労士、藤岡夕里子さんは「初診日の証明ができない人が多い。初診日がかなり前だと、受診した病院が分からない、病院にカルテが残っていないといった壁がある」と言う。藤岡さんは請求を支援する活動をしていおり、このケースでは病院の領収書を手がかりにしたり、第三者に証明してもらったりするという。

また、藤岡さんは「障害の程度が軽いとみられてしまう人も多い」と指摘する。障害年金の請求手続きでは、医師の診断書が必要になる。ただ、精神や知的の障害がある人が、自分の障害を医師に正確に伝えるのは難しいことが多い上、障害年金に詳しくない医師も多い。藤岡さんらは、医師に障害を伝える支援にも力を入れている。

請求を支援する社労士は探しにくい。NPO法人の「障害年金支援ネットワーク」（奈良県斑鳩町）は、無料電話相談＝フリーダイヤル（0120）956119＝を実施してい

障害年金をもらう 手続きの概要

障害年金の
受給条件などを確認
初診日も確認する
相談先を調べる

年金事務所や
自治体の役場で
必要書類をもらう

医師に診断書を
作ってもらう

病歴・就労状況等
申立書を作る

年金請求書を作る

る。

◆ 3日に無料電話相談

多重債務や貧困の問題に取り組む法律家らでつくる「全国クレサラ・生活再建問題対策協議会」の「社会保障問題研究会」は3日午前10時～午後4時、障害年金の請求に関する無料電話相談（通話料は別）を全国15カ所で実施。社労士らが応対する。

沖縄県内高齢者 要介護の9割に認知症状 8年連続増 琉球新報 2016年12月1日

2015年度末現在で要介護認定を受けている県内の65歳以上高齢者5万6244人のうち、88.8%に当たる4万9937人に何らかの認知症の症状が見られ、高齢者全体の約5.7人に1人（約17.5%）に上ることが県高齢者福祉介護課のまとめで分かった。認定者数に対する何らかの症状を持つ高齢者の割合は過去8年間で伸び続けており、施策の推進が求められる状況となっている。3月末現在、「認知高齢者の日常生活自立度」で何らかの認知症症状が見られる「ランク1」以上と判定されたのは4万9937人。そのうち何らかの支援が必要とされる「ランク2」から一時的な精神状態の悪化で専門医を受診する必要がある「ランクM」までの高齢者は3万8628人で、認定者の68.7%を占めている。要介護認定者数に対する「ランク1」以上の割合を年度別で見ると、08年度84.9%、09年度87.1%、10年度87.2%、12年度87.3%、13年度87.4%、14年度88.4%となり、年々増加していることがわかる。同課担当者は「高齢化に伴い像加していると考えられる」と説明した。

作品展 弘済学園入所者、東京駅で5日から /東京 毎日新聞 2016年12月1日

公益財団法人鉄道弘済会が運営する総合福祉センター「弘済学園」（神奈川県秦野市）は5日、JR東京駅丸の内地下南「動輪の広場」で、入所者らの作品展「第54回わたしたちが創る展」を開く。7日まで。弘済学園は知的障害、自閉症児者のための施設。

障害者らひと足早くルミナリエを満喫 ハートフルデー 産経新聞 2016年11月30日



開幕に先立ちハートフルデーに招待された障害者と介助者＝30日夜、神戸市中央区の東遊園地(奥清博撮影)

阪神大震災の犠牲者を追悼する光の祭典「神戸ルミナリエ」が12月2日に開幕するのを前に、障害のある人に混雑を避けてゆっくり楽しんでもらう「ハートフルデー」が30日、神戸市中央区の東遊園地で開かれた。

■「1・17」で阪神大震災22年…追悼の光

18回目の今年のハートフルデーは、兵庫県内を中心に約1万4500人が参加。午後6時半に点灯されると、闇を照らす光の芸術をひと足早く楽しんだ。車いすで訪れた兵庫県西宮市の主婦、鹿子木（かこぎ）友子さん（84）は「この光を見ると、震災当時のことを思い出します」と目に涙を浮かべていた。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行